

フランス人の心に深く刻まれた蜷川幸雄演出『海辺のカフカ』 スタンディングオベーションで称賛を受ける：大千秋楽レポート

期間中、原作者の村上春樹さんもパリで観劇、学生と対話する特別トークイベントを開催し、村上ファンと交流！
ジャポニスム 2018：響きあう魂



©KOS-CREA 写真提供：国際交流基金

2018年7月よりパリを中心にフランスで開催中の日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018：響きあう魂」。その約70に及ぶ公式企画のフィナーレを飾る舞台公演の一つ、蜷川幸雄演出『海辺のカフカ』（主催：国際交流基金、国立コリヌ劇場、共催：TBS、ホリプロ）が、パリ国立コリヌ劇場にて、現地時間2月23日に千秋楽を迎えました。

ニューヨーク・タイムズ「年間ベストブック10冊」や、世界幻想文学大賞に選ばれた村上春樹の傑作長編小説『海辺のカフカ』を蜷川幸雄が演出。原作の世界観を世界の二ナガワならではの美しく壮大なスケールで舞台化し、大きな話題を呼びました。二大巨頭による話題作というだけでなく、日本を代表する豪華キャストの真に迫った演技も見どころとなり、初日から千秋楽まで、男女問わず幅広い年齢層の多くの観客がご観劇くださいました。観客からは「詩情溢れる世界観に心を打たれた。」「日本に旅すると同時に、心の内面の旅に誘われたようだった。もっと長く見ていたかった。」「アクリルケースのセットは時間と空間を切り取った一つの世界として、それぞれに独立しており、それらが織り成すリズムによって作品が構成されていると感じた。」という絶賛の声が寄せられました。千秋楽のカーテンコールはスタンディングオベーションで鳴りやまない拍手と称賛の中、その幕を閉じました。本公演は、フランス・パリでの手応えをもって5月に日本での凱旋公演を予定しています。

また、2月23日16時より、原作者の村上春樹氏によるトークイベントが開催されました。若い世代を中心に招待された500人ほどの参加者を前に「私の小説をもとにした『海辺のカフカ』公演で、そしてこの作品を演出した亡き蜷川幸雄氏との素晴らしい記憶と共にパリに来られたことは大変光栄であると共に嬉しく思っています。彼のとても革新的で創意あふれる演出を素晴らしいと思います。そして何より皆様にこの公演を楽しんで頂けるよう、願っています。」とメッセージを送り、フランスにおけるカフカ旋風に後押しをしてくださりました。

報道関係者からのお問い合わせ先：

(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央 (070-3190-3708)、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

■公演概要

期間：2019年2月15日（金）～23日（土）（2月18日休演）

会場：国立コリヌヌ劇場

主催：国際交流基金、国立コリヌヌ劇場

共催：TBS、ホリプロ

協力：新潮社、ニナガワカンパニー

企画制作：ホリプロ

原作：村上春樹『海辺のカフカ』（新潮文庫刊）

脚本：フランク・ギャラティ

演出：蜷川幸雄

キャスト：寺島しのぶ、岡本健一、古畑新之、柿澤勇人、木南晴夏、高橋努、鳥山昌克、木場勝己、新川将人、妹尾正文、マメ山田、塚本幸男、堀文明、羽子田洋子、多岐川装子、土井ケイト、周本絵梨香、手打隆盛、玲央ヴェルトナー

キャストのコメント

■キャスト：寺島しのぶ（佐伯／少女役）

フランスのお客様が「海辺のカフカ」という作品をとっても愛していると感じましたし、スタンディングしてくださる姿をみて、小説もお芝居も愛してくださっていると、とても嬉しくなりました。東京公演までは二ヶ月ありますので、頭を一旦リセットして、また新しく取り組んで積み上げていきたいです。

■キャスト：岡本健一（大島役）

僕は今回カンパニー初参加なので、お客様がどんな反応をされるかなと思っていたのですが、フランスの皆さんは、村上春樹さんの本をほとんど読んでいらして、台本の哲学的な会話で笑ったり喜んでくれている姿に感動しました。日常では味わえない表と裏のある役の本質をつかむのに苦心しましたが、カーテンコールでは、お客様との間で心が通じる感覚があり、感極まってしまいました。

■凱旋公演概要

期間：2019年5月21日（火）～6月9日（日）

会場：TBS 赤坂 ACT シアター

主催：TBS、ホリプロ

協力：新潮社、ニナガワカンパニー、ANA

企画制作：ホリプロ

■ジャポニスム 2018 について

「ジャポニスム 2018：響きあう魂」では、パリ内外の100近くの会場で、展覧会や舞台公演に加えて、さまざまな文化芸術を約8ヶ月間にわたって紹介する、日本文化・芸術の祭典です。古くは日本文化の原点とも言うべき縄文から伊藤若中、琳派、そして最新のメディア・アート、アニメ、マンガまで、さらには歌舞伎から現代演劇や初音ミクまで、日本文化の多様性に富んだ魅力を紹介します。同時に、食や祭りなど日本人の日常生活に根差した文化をテーマにした交流イベントなど、会期を通じ約70の公式企画を実施します。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本各地の魅力をパリに向け、またパリを通して世界に向けて発信します。さらに日本国内における広報活動を通じて、日本文化を再発見できる機会も作っていきます。

<https://japonismes.org/>



ジャポニスム 2018

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

■ 素材提供について

※「ジャポニスム 2018：響きあう魂 蜷川幸雄演出『海辺のカフカ』」の報道以外での写真の使用、および、二次利用はご遠慮ください。

※写真素材などに関してはリリースがお手元に届いた貴紙・誌・番組のみの使用とさせていただきます。他紙・誌・番組への素材の供与および掲載、オンエアは固くお断り申し上げます。

※掲載、オンエアなどの予定が決定した際、担当者までご一報いただければ幸いです。

※岡本健一の肖像入り写真は、本件記事以外の用途での二次使用はできませんのでご注意ください。

※岡本健一の肖像入り写真の web での掲載はお渡しした一点のみでお願いします。

※写真をご使用の際は画像クレジット「©KOS-CREA 写真提供：国際交流基金」を記載ください。

【舞台公演】



【トークイベント】



報道関係者からのお問い合わせ先：

(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内
担当：浅野憲央 (070-3190-3708)、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp